思いやりの輪を広げよう 差別をなくして明るい社会を 1面 同和問題を正しく理解しましょう

のためには、自分の人権を主張するだけではな がいのある生活を送りたいと願っています。そ 私たちはみな、人から尊重され、幸せで生き

ながらにして自由であり、か 宣言が、1948年(昭和23 「すべての人間は、生まれ である」とうたった世界人権 侵されて知る人権の大切さ く、他の人の立場を考え、思いやりをもって接 していかなければなりません。しかし、残念な 1

を広げていきましょう。 ついて話し合い、思いやりの輪、人権尊重の輪 普段から、家族や身近かな人たちと人権問題に る事象が身近かに起きていることも事実です。 がら、いじめや差別など、人の心を深く傷つけ

2 部落差別をなくそう 3 障害者の完全参加と 女性の地位を高めよう いじめ、体罰の根を絶とう 平等を実現しよう

つ尊厳と権利とについて平等年)12月10日、国連総会で採

日を記念し、毎年12月10日を

強調ラ

択されました。そこで、この

めの根を絶とう

を迎え、関係機関・団体と協 発行事を行っています。

今年は第39回目の人権週間

週間」として、いろいろな啓

ら10日までの1週間を「人権 日本でも、毎年12月4日か 「人権デー」と定めました。

テーマとして、広く自由人権

社会問題となっています。い じめは、いじめられる子ども

あります。

思想の普及に努めます

力しながら、次の4つを強調 ている「いじめ」が、大きな 傷害事件に発展することさえ どもは、いろいろな友だちと 今、子どもたちの間で起き に深刻な苦痛を与え、自殺や ことがあげられています。子 区児童生徒健全生活指導委 東京都人権擁護委員連合会 やりといたわりの心の大切さ るものです。子どもが自ら、 ながら忍耐強く見守りたいも よう、親と教師が連携し合い すばらしい友だち関係を築く を感じ、精神的な成長をとげ のかかわりの中で、この思い りの心が、まだ育っていない

平等を実現しよう

所

9 5

23

11

6 919

17 18

18

6

881

の、すばやい適切な指導が必なりません。 ときは、学校や家庭、地域で は最大限に尊重されなければ のが実情です。しかし、家族 しかし、いじめがわかった まれながらにその人格と生命

家族の手にゆだねられている

障害者の介助は、大部分が

面が多くあります。

区民のみなさんの、お互いの

権

名

治

操 綾

富 蔵

氏

野 澄

伊集院

住

本木南町21

の塚 2 - 32

青 井 6 - 16 -

西新井本町 2-21-3 千住緑町 2

台 2 - 45

障害者年」と定め、障害をも くボランティアが、数多く求 を目標に掲げました。 この考え方を「障害者福祉 者の介護や介助をしていただ す。そこで、このような障害 介助者のいない障害者もいま

34 — 7867 教育センター相談室 32 — 1170 教育委員会教育相談

す。 よいので、気軽に参加できま 現に、みなさんのご理解と参 アは、できる範囲で、できる 人がともに生きる。社会の実 ″障害をもつ人ともたない

> 日時 12月2・3日、午前 軽にご相談ください。 相談所を開設します。お気 動行事の一環として、総合

10時~午後4時(受付け

・登記・戸籍・国籍・供

884 882

行政の力だけでできるもので

間はずれ」、男子では「わけもし、仕事をはじめ、日常生活 よると、女子では「無視、仲うえで重要なことです。しか なくけられる、ぶたれる、物 においても、まだあらゆる面

ため集団で弱いものをいじめ り、汚れた水を飲まされたり 中には、ぬすみを強要されたっています。 をぶつけられる」が最も多く、 など、人間として許すことの できない行為もありました。

また、欲求不満を解消する の、いわゆる男女雇用機会均 す。

人に対する思いやりやいたわ るという傾向も見られます。 いじめの原因の一つに、他 とは言えません。 障害者の完全参加と

も、人間としての尊厳は少し ィキャップを負っています。 きる。ことさえ大変なハンデ細かな人的サービスなどは、 しかし、障害がいかに重くて 助け合いによって果たされる も損われるものではなく、生 心身に障害をもつ人は、。生はありません。とくに、きめ

81年(昭和56年)を「国際 の理念」として、国連は19 の負担にも限度があり、また

促進などに努めてきました。 療・教育訓練の充実、就労の 際障害者年足立区行動計画」 つ人びとの「完全参加と平等」められています。ボランティ 現するため、昭和57年に「国 足立区では、この目標を実ときに活動していただければ

員会の調査(昭和60年度)に 消や女性の地位の向上を図る めていく必要があります。 で婦人問題は解決されずに残

います。

人権擁護委員は、人格がす 権擁護委員にご相談くださ

を受けた人は、遠慮なく、人

人権を無視されたり、

内に人権擁護委員がおかれて

皆さんの人権を守るため区

とです。

等法の制定など、徐々に改善 などの一部改正や、昭和61年

されてきましたが、まだ十分 決と、女性の地位の向上を目 また、女性の能力の適正評もに、活動を進めていきます。 ざして、区民のみなさんとと

向上を図るため、民法、税法 ているところです。現在建設 法律の面では、女性の地位

う、各種の条件づくりを進め 中の婦人会館もその一つで これからも、女性問題の解

権を尊重する考えを広めるこ

秘密は固く守られます 権身の上相談」を行っていま

人権を侵された人の救済や人 す。相談は、いずれも無料

委嘱されます。その任務は、

区長が推薦し、法務大臣から 日、午後1時から4時まで「人

権の擁護に理解がある人で、 ぐれ、社会の実情に通じ、

また、区では毎月第2火曜

種の講座等に参加する女性が 校教育の場における男女平等 るかなど、率直に話しあえる場で考えよう」と語りかけて 地域で、どんな体験をしてい 参加や学習活動は、

性差別解

助けあう共助の実践などを進 ふえてきました。婦人の社会の意識の啓発、相互に尊重し、 年々、仕事を持つ女性や各 価や登用のほか、各家庭、学 女性の地位を高めよう 主体性をもって生き、その個 を昭和58年に策定し、女性が 決のための足立区行動計画」 談をまじえながら「相手の立 の話し合いの中で、親の体験 性と能力が十分発揮できるよ 足立区では「婦人問題の解

なお、講演には手話通訳

気軽においでください。 の一環として「講演と映画 日時 12月8日(火)、午後 の集い」を開催します。お 1時30分-4時30分 区では、人権週間の行事がつきます。 人権ポスターコンクール表彰式も (入場無料)

映画 新しい発足」磯村英一氏

購演 「人権問題としての

表彰式 第4回人権ポスタ ーコンクール入賞者 (地域改善対策協議会会 「窓をあけて走れ洋

日頃から、子どもが学校や てとして大切なことです。そ 講演と映画

も、いじめを未然に防ぐ手だ

場所 竹の塚社会教育館

問合せ先 策担当

本庁舎・同和対

人権問題でお困りの方

〈昭和62年〉

3300

5010

3885

電話番号

無料法律·法務総合相 談 所 開 設

場所 東京都児童会館 (渋 409 6 相談担当者 法律扶助協会 所属弁護士、東京法務局

人権思想啓発のための活

所属公証人、東京都人権

擁護委員連合会所属人権

主催東京法務局、 擁護委員ほか

八権擁護委員連合会

相談内容 法律・公証・人 権(いじめ、体罰も含む)

279

--| | |-7

同和問題を正しく理解しまし

和地区出身ととさえあるののかなど、同社会を築いて のかなど、同和問題を正しく理解し、互いに協力し合って、差別のない、明るい とさえあるのです。こうした差別が、なぜ起きているのか、どうすればなくせる 和地区出身というだけで、いわれのない差別を受け、自由をうばわれてしまうこ 社会を築いていきましょう。 いじめや性差別などと並んで、部落差別も大きな人権問題となっています。

の中で、つくりあげられた身 建制度の政治、経済の仕組み 部落差別問題ともいいます。 にかかわる問題です。これをわらず、その生活は、以前と が保障する基本的人権の侵害 な差別は封建時代とあまり変 都市化の波の中で混在化、潜 分たちの問題として受け止 部落差別は、江戸時代の封りませんでした。 同和問題とは、日本国憲法 日常の社会生活上、さまざま 震災や戦火、そしてその後の です。このような差別を、自

れた人々に対する差別に由来 ながら、人間以下として扱わ 分制度によって、人間であり ました。しかし、長い間続い 力を注いでいるところです。 本的人権の尊重を柱とする新 自覚し、同和問題を正しく理 しい社会の建設へと歩み始め

比べてよくなったわけではありましたが、部落差別がなくはじめて本当に差別のない民 なったわけではありません。 ています。 あげての取り組みが続けられ

基調とする憲法を制定し、基 みなさんに、人権の大切さを 終戦後、日本は民主主義をそこで、都や区は、住民の 解していただくため、啓発に

左別をなく

を強制されました。また、職

しかし、この「解放令」は単えていくのではないか」とい う考え方があります。 権利と深い関係があると考えうな差別をすることは許され く認識し、部落差別が国民の 主主義の社会だから、社会のはありません。 成熟化に伴って部落差別は消 しかし、差別の現実を正し 用にあたり、同和地区出身者 右する就職の機会に、このよ がありました。人の一生を左 と外国人を就職差別した事例 足立区においても、社員採

選しました。

《小学生の部》

次の小・中学生の昨品が入審査の結果、

あり、厳正な 97点の応募が 中学生から千

第 4 回

制度上なくなったはずでし 令」により、この部落差別は 利を奪われていました。 隅々まで制限され、自由と権 業や結婚、交際など、日常の 荒れ地や河原などに住むこと します。この身分の人たちは、

明治4年、いわゆる「解放

民の問題であって、自分には

に、人権侵害を受けているの 差別事象をみてもわかるよう

同和問題は、同和地区住

直接関係ない」とか、「今は民は、同和地区の人たちだけで

り、他人ごとではないことが れば、決して無関係であった ません。 自分たちの生活を改めて見つ 私たち区民一人ひとりが、

ったものではありませんでし 和地区住民が実質的に差別と を宣言したのにとどまり、同 業が平民並みに扱われること にべっ称を廃止し、身分と職

したがって、明治維新後も

結婚差別や就職差別などの め直してみると、現在の社会

貧困から解放される政策を伴

重大な社会問題として、国を 別に気がつくと思います。そ てきた部落差別は解消されず

に残されているさまざまな差

在化し、一見、目立たなくなめ、それを取り除いてこそ、 都内の部落差別は、関東大 る差別、民族・人種差別など 主主義社会の実現が可能とな

れは部落差別、性差別、学歴 差別、障害者差別、貧富によ

> 自分と、全く同じ性格の人 第一の理由だと思います。 格の人がいるということが うか。私は、いろいろな性 のは、何故おきるのでしょ

しか、この世の中にいなか

るのではないでしょうか。

いじめについて

竹の塚中学校2年 山本由香子

ったなあ、という気持ちに ばらくすると、自分も悪か ような気になる。でも、し かもがにくらしくて、わた くやしい。そして、なにも しのことをばかにしている ことを言われた時、すごく た時、クラスの人にいやな わたしは、母にしかられ られたくやしさが、クラス ろん苦しい。人間なんだか らしたらだめなのだ。 と思う。そのもやもやを、 の中にずっと残る人もある らしさや、もやもやが、心 の人に悪口を言われたにく 他の人を苦しめることで晴 いじめられた人は、もち

ると思う。中には親にしか みんなもこんなことがあ 今、全国的に問題となっ だから苦しいのだ。 ら、みんなと同じ人間なん いじめられる人は、たい できるはず

ったら、誰も、人間という然とおきてしまうのです。 ないだの、そんな感情が、自 入らないだの、誰が好きで 実があるために、誰が気に っているという、現在の事 り合って、人間関係をつく ろうなんて、思いません。け ものに対して、いじめてや れど、いろいろな人が交わ す。いじめて は、ないので いいと思って おきるもので 情は、自然と を、いじめて いいという感 でも、 他人

らには、人権というものを 拠だと思います。人間、一 の人権を、無視している証 持っているのです。人権と 人ひとり、生まれてきたか

青井中学校3年 佐藤

方美

いる人は、いじめられる人 ます。 人権に対して無視をしてい と、全くといっていいほど、 種差別などを考えてみる す。けれど、いじめや、人 とが、人権なので 活を営むというこ 平等に、幸せな生 す。すべての人が ているものなので

だ。そのくやしさを、なぜ だって簡単に くらいのすご なんか考えら 大きい声でみんなに訴えな に訴えること なら、みんな い勇気がある れない。死ぬ いのだろう。まして、自殺 くて、くやしがっているの くて、にくらしくて、悲し いる。でも心の中では苦し と思う。 先生は、先生なんだから、 生徒の気持ちを、

「やめなさいよ」

61年度 全国ロコンテスト東京 紙面の都合上、一 なく、誰もが持っ っているものでは ぜいじめはいけな
てる人に言えないのだ。み

ている "いじめ" というも

人権無視をする人たちは 楽しんでいるようでは、人 いつでも有利な立場で、他 訳ばかり言って、自分は、 私は、こう思います。言い きないんですか。いつも、 人は不利な立場で、それを

す。 死んでいるのと同じで

よく言います。

ない人権問題。誰かが解決 るものです。世の中の人が、 る人びとが、全員で解決す なく、世界中の、生きてい してくれるというものでは く考えていかなければいけ 一人残らず、この、誰もが 今、一人ひとりが、正し

たり、注意してあげたりで の人の悪い所を直してあげ です。だったら、何故、そ いじめたりする」 私たちは、差別をしたり、 「そちらに原因があるから 私は、この考えが大嫌い が解決されると思います。 真剣に考えた時、世界の平 和がやってきて、人権問題 持っている人権に対して、

趙東敏、三田淳寛、小林秀 美、瀧尾美絵(以上、梅島)、 植田正一(島根)、中野亜矢 ≪中学生の部≫ りえ(以上、竹の塚北) (渕江第一)、加藤宏、片山

りました。

このコンクールは、区が、

ンクール」の入選者が決ま

第4回「人権ポスターコ

五)、蔀好章、吉田知子、鈴 【銅賞】対馬宏美(千寿第 (以上、第十五)、彦根容子 (渕江第二)、米井麻紀(竹 【金賞】賀澤一憲(花保) (第十六)、奥泉由紀 (東島 【銀賞】太田裕子、渋谷英志

の塚北)

人権ポスターコンクール 木政康、榎本知枝(以上、 根)、岸夏子(渕江)、池田美 【銅賞】山本直子 恵子 (扇)

行ったものです。

区内の小・

の啓もう啓発の一環として 生徒に認識してもらうため 人権の大切さを、広く児童、

千寿第七)、田中康寛、西村 祐香、小川真吾、山田直美、 者発 島根)、小沢宏江(渕江)、吉 上、第十五中)、高橋友子(東 表 井上勇一郎(以 明子、川島絹子、 (第十一)、角田

東栗原)、深津亜美(平野)、 竜太、橋本奈緒子(以上、 岸淳子(以上、梅島)、大砂 谷有希子、水沢あゆみ、峯 山根三千代、葛巻航平、熊 田道子 (谷中)、中村幸司 ばれました。 (扇)、岡本江身子 (加賀 このほか、佳作も多数選

直也 (以上、千寿第七)、小 鎌形祐岐、中谷和恵、藤田 【銀賞】岩附賢(千寿第一)、 【金賞】松本一秀(梅島)

沢明穂、小泉亜希、木村誠、

北原陽子 (北三谷)、柴崎希

しみをみんなに言えないでくて、ほんのちょっとした てい気が弱いので、その苦 解しあわなくてはいけない つく。そんな傷つきやすい 言葉でもグサッと心に傷が 人間のことを、みんなで理 人間というのは、案外弱 と思う。 いのかを、よく言い聞かせ

も言って、がんばればいい うのもいいけど、保護者に る人は、先生に助けてもら てほしい。いじめられてい いじめに関係する人は、

護者は、ただおこている、みんななのだ。こ もっとよくわかっ てもらいたい。保 に平気で見て見ぬふりをし れている人がいるというの もう一人いる。それは、み んなだ。クラスでいじめら には、どんなにうれしいだ と言が、いじめられてる人 ろう。今まで、真っ暗闇だ

と言ってるくせに、いじめ の中では、また、かげでは、 の人たちは勇気がない。心 うと言える学校にしよう。 と、みんなの前で、どうど 「いじめる」「いじめられる った心に光がさすかもしれ いので有名だから みんなが平等な、そして

世界にしたい。 「私達の学校はいじめがな こんな言葉の存在しない

240,000

しまえばいいのに。そのひ んだから、みんなで言って んなそう思っているはずな